

## ねんりんピックかながわ2022 監督日誌 (R4.11.14)

文責 静岡県ダンススポーツ選手団 監督 後藤 徹

### 県連盟初の快挙！！堂々の準優勝

コロナの影響で、3年ぶりの開催となった神奈川大会。選手一堂満を持しての開催であり、しかも会場は、激戦地の神奈川県川崎市である。

#### 開会式 (11月12日)

コロナ対策として、今回は全員での入場行進が取りやめになり、団長や旗手など数人に限定された。そのため横浜市や川崎市で競技が行われる団体のみ観覧席からの参加になり、我々も開会式に参加できた。他の競技団体は、別行動。

座席は3階。会場が暗い上に座席も狭い。階段も急勾配で、行動が制約された。

アリーナという狭い空間の中で、行進も数人なので、まるで迫力に欠ける。アトラクションも、光と音の演出に限られ、モニターでの放映もよく見えず退屈であった。やはり屋外がいいな  
開会式後川崎市に移動。今回はスイカを利用したの電車移動。結構面倒くさい。

ホルチェックイン後、会場へ向かう。ヒールチェックはかなり厳重に行われた。監督会議が紛糾してホテル到着が遅くなったが、ホテル内での小宴会で、明日に備える。

#### 大会当日 (11月13日)

あいにくの雨模様。午前8時会場入り。控室への入場に時間を要した。背番号が当日に配布されたことも混乱の一因。控室は広く着替えに支障はない。

開始式では、コロナ対策の為か、先頭の監督がプラカードを掲げて行進。

今回はフロアに選手席を設けず2階観覧席が選手席。私も観覧席から見ることになった。10時からチャチャチャの個人戦が始まる。2階席からでは選手の動きが判らず、戻ってきた選手の様子で初めて判断できた。

会場の各所にスタッフが配置され、ヒールチェックに余念がない。フロアでも、ビーズ等の清掃が綿密に行われていた。殆どの選手がマスク着用でフロアに立つ。

ルンバでは杉山・杉山組が順当に勝ち進み、6位に入賞。スタンダードに入ると、場馴れしたエース級が出場し、本県選手は色を失う。

団体戦は50チームの戦い。個人戦の不調をよそに、あれよあれよという間に、決勝まで勝ち進む。8位からの順位発表。2位の発表に奇跡が・・・「静岡県」のコール。見事準優勝に輝く。

しかしその後が最悪。表彰式が30分遅れる。冗長な式が終るともう7時。皆さん式後の予定をしっかりと立てていたため、入賞者記念撮影もキャンセル。慌てて其々バラバラで、会場を後にする羽目になった。

12月22日に、県庁に於いて、成績報告会が予定されている。みんなで行きましょネ。